

予算決算審査委員会 厚生文教分科会報告書

平成29年10月20日

備前市議会議長 鵜川晃匠 殿

厚生文教分科会
主査 掛谷 繁

平成29年10月20日に分科会を開催し、次の議案を審査したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	備 考
議案第82号 平成28年度備前市一般会計歳入歳出決算の認定について中、 厚生文教分科会所管部分のうち、市民生活部・保健福祉部外関係	—

《 分科会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	2
議案第82号の審査	2
閉会	24

予算決算審査委員会 厚生文教分科会記録

招集日時	平成29年10月20日（金）		午前9時30分	
開議・閉議	午前9時30分	開会　～	午前11時50分	閉会
場所・形態	委員会室A・B	閉会中の開催		
出席委員	主査	掛谷　繁	副主査	山本　成
	委員	橋本逸夫		田口健作
		立川　茂		西上徳一
		星野和也		
欠席委員	なし			
遅参委員	なし			
早退委員	なし			
列席者等	議長	鶴川晃匠		
	参考人	なし		
説明員	市民生活部長	今脇誠司	市民窓口課長	山本啓之
	税務課長	竹林幸一	市民協働課長	馬場敬司
	文化スポーツ課長	横山裕明	環境課長	久保山仁也
	公共交通課長	杉田和也		
	保健福祉部長 兼 福祉事務所長	高山豊彰	保健課長	山本光男
	介護福祉課長 兼 医療福祉連携課長	今脇典子	社会福祉課長 兼 臨時福祉給付金対策課長	丸尾勇司
	子育て支援課長	藤田政宣		
	日生総合支所長	大道健一	吉永総合支所長	金藤康樹
傍聴者	議員	山本恒道	尾川直行	
	報道関係	なし		
	一般傍聴	なし		
審査記録	次のとおり			

午前9時30分 開会

○掛谷主査 皆さん、おはようございます。

ただいまの出席は7名でございます。定足数に達しておりますので、これより予算決算審査委員会厚生文教分科会を開会します。

本日は、議案第82号平成28年度備前市一般会計歳入歳出決算の認定について、当分科会所管部分のうち、市民生活部及び保健福祉部ほか関係の審査を行います。

別冊の決算書をごらんください。

それでは、歳入からいたしますので、よろしくお願いいたします。

お手元には款項目の該当ページと、別紙の細かい内容を書いているものがあると思いますので、参考にしながら進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

16から19ページの市税について、御質問がありましたら。

○橋本委員 市税の徴収についてお伺いいたします。

いろいろな資料、決算審査の委員会の資料等々を見ても、相当徴収率が上がっておるということで、これはいいことですが、1点市民の方から相当言われよんですが、余りにも徴収をするペースというか、差し押さえするぞという文書、それが余りにも早過ぎるんじゃないかと、そういうものをもってみんなびっくりして、それで慌てて納めに行くというようなケースをよく聞く。以前よりもサイクルが、悪質な滞納じゃなくてちょっとした滞納ということに対しても、物すごく過敏に反応しよんじゃないかというふうに言われるが、そのあたり執行部は余り変わっていないんですか、今までどおりやっておられるのか、結構徴収率も上がっているようですが。

○竹林税務課長 徴収対策についてでございますが、基本的には納税がいただけない方には納付期限から20日経過後程度で督促ということで、それ以降まだ何も反応がない方で納税者の方には再度呼びかけ等は行っております。そういった中で、呼びかけに反応がありました納税者の方については、納付相談等に対応させていただいております。最近徴収対策に力を入れているのは確かで、以前よりはうちのほうもそういったある程度早目早目の対応を心がけているというのは現状でございます。

○橋本委員 早目早目の対応というのが、これはちょっと滞納につながってしまう、長期の滞納につながってしまうおそれがある場合には、まあそうやって早目の対応をするのもよろしいですが、当然これうっかり忘れとるなあとというような人に対して、次差し押さえするぞという文章が無い込んだら、市民の方びっくりするんですよ。でえれえ徴収が激しゅうなったなあとというて私らもいろんな方から意見を聞くので、まあ我々議員の立場とすれば徴収率を上げよ上げよということでいつも言いますが、余り度を越えた、そこら辺は少し考えてほしいなあと、金額によってもささいな金額で差し押さえするなんていう文章は余りにも厳し過ぎるというふうに思うが、その点はどんなですか、執行部のほうは。

○竹林税務課長 おっしゃるとおり、個別のケースを見ながら気をつけて対応はしていきたいと

思います。

○掛谷主査 いいですか。

○橋本委員 はい、いいです。

○立川委員 市税の市民税ですが、個人と法人とに分けておられるが、調定額ベースで見ても14億8,100万円と、昨年、7,000万円程度落ちています。法人税は、5億400万円ちょっと、昨年は4億9,000万円台、これはちょっとアップをしてきております。今後、個人の市民税、多分減少は続くと思います、この傾向ですので、どの程度見ておられるのか。それと、法人市民税は多少なりとアップしてきているが、その見通し、どの辺に置いておられるのかお尋ねします。

○竹林税務課長 市民税についてですが、まず個人市民税については、おっしゃられますように納税義務者自体が減少している関係と、あと総所得ですね、こちらがやはり減少傾向、これは継続して今後も続くと考えております。

法人市民税については、景気の動向等が影響してきますので、なかなか読みづらい部分もありますが、28年度の決算については調定ベースで前年度より1,100万円程度増加になっておりますが、こちらの中身を見ても業種ごとに一概にということが言えませんが、うちの重立った産業で言いますと耐火れんが関係で言いましても増になっている企業もあれば減になっている企業もあるということで、トータルで言えば若干減少しているという状況です。また、その他の大きな製造業が何社かありますが、こういった部分についても増になっている企業もあれば減少傾向のところもあるということで、なかなか見通しがつきにくい部分ではあります。今の現状を見ると、29年度は全体で若干増加しているような傾向は見えております。ある程度今後どうなるかというところは、財政計画等では若干減少傾向では見えていますが、ちょっと今後の動向は見ていきたいなと思っております。

○立川委員 個人市民税は、当然生産人口も少ないわけですから人口数も減る、当然減っていくが、どの程度減ればどの程度の影響が出るとか税務当局が見てわかると思う。法人市民税も一緒ですね、もうこれからは変な話V字回復は無理ですから、どの程度で抑えられるのか、これ一番大事な市民税の徴収になりますので、しっかり計画を立てるほうが私はいいと思うが、いかがですか。

○竹林税務課長 財政計画等でも計画は立てていっておりますので、やはり一応減少傾向というところは否めないかなというところでは計画上は今のこの減少率程度の見込みは立てている状況です。

○立川委員 財政計画と実際動く現場のほうが多少違うのが常で、ぜひ課長のところでしっかり数字を予測して、今後生かしていただけたらと思うが、いかがですか。

○竹林税務課長 いろいろ動きのほうを見ながら、計画は立てていきたいと思っております。

○掛谷主査 ほかによろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

22、23ページ、分担金及び負担金、民生費負担金の2節と、5目衛生費負担金で何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

22から25ページ、使用料及び手数料、ここでは国際交流ヴィラの使用料までで何かございますか。

○立川委員 24ページの3目衛生使用料、これ後でも出てくるが、市営墓地永代使用料がぐんと落ちているんですよ、何かその原因がわかったら教えてください。

○久保山環境課長 永代使用料については、今回吉永の興七郎谷霊苑の使用料2区画分が入ってきております。これは、最初に墓地を使用する際に支払うものになりますので、新規で借りる人がおればここに歳入が入ってくるような形になっております。

○立川委員 永代使用料が前年比較でもそうですが、使用料が減っているんです、その原因をお尋ねしよんですが。

○久保山環境課長 もうこれは1回きりの使用料になりますから、毎年払うものではございませんので、去年とことしと当然違うということになります。

○立川委員 いや、それはわかるが、1回きりで入会金みたいなものだという理解はしているが、それがもういっぱいになったとかそういうことを聞いたかったんですが、言えることはわかりますか。区画がなくなっているんですか、どうですか。

○久保山環境課長 墓地の区画数、残区画数ですけども、市営墓地1,470区画ございまして、31残区画がございます。

○掛谷主査 よろしいか。

○立川委員 はい。

○掛谷主査 ほかにありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

24、25ページ、民生使用料と衛生使用料。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次、使用料及び手数料の使用料の中の9目教育使用料の中の小学校施設使用料と、次の3節の中学校の学校施設使用料、ここはどうでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

24から27ページ、教育使用料の7節、1目総務手数料の1節中証明手数料、同じく総務手数料2節、3節、次の3目衛生手数料まで、皆さん何かありましたら。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

28から31ページになりますが、国庫支出金、国庫負担金から国庫補助金のところまで行きます。衛生費、2目の民生費国庫負担金、4節中の市立保育園運営費負担金を除いたものと、衛

生費国庫負担金、それから総務費国庫補助金の6節までの間で。

○掛谷主査 ほかにいいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次の国庫支出金、国庫補助金、民生費国庫補助金5節中の子どものための教育・保育事業費補助金を除く、あとは全て対象になります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

32、33ページの国庫支出金、国庫補助金の3目衛生費国庫補助金の2節、3節、5節についていかがでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

34ページの国庫委託金の総務費委託金の2節のところはどうですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

同じく委託金の民生費の委託金についてはどうですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

34から37ページ、県支出金になりますが、ここでは県負担金についてを一括でやります。

1目総務費県負担金の一部と、2目民生費県負担金の4節中市立保育園運営費の補助金を除いた部分、3目衛生費県負担金のところまで行きます。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

36、37ページ、県支出金、県補助金、11節中地方振興事業調整費補助金を除く部分でどうでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

36ページから39ページ、県支出金の県補助金まで一括で行いたいと思います。2目民生費県補助金、1節、2節、3節、4節、7節中子ども・子育て支援交付金、8節、12節までのところで何かあればどうぞ。

○田口委員 39ページの公害対策費補助金の公共施設再生可能エネルギー等導入推進事業補助金2,189万6,439円、この補助金によってどれだけのエネルギーを生み出しているのか。

○久保山環境課長 この補助金は、岡山県の再生可能エネルギーの導入事業を使い、久々井の総合運動公園体育館の事務所の上に太陽光発電とそれから蓄電池を……。

〔「委員長、求めたことだけに答えてくれたらいいわけで、それどこにとかなんとかそういうことを聞いていない。時間が惜しい」と田口委員発言する〕

○掛谷主査 エネルギーのこれをつけたメリットというか……。

○田口委員 いやいや、メリットじゃない、どんだけのエネルギーを生み出しているかと聞いただけじゃ、発電量。わからないならわからない、わからないから後で調べますって。

○久保山環境課長 太陽光発電が、11.8キロワット発電できるようになっております。

○田口委員 キロ数からして、補助金額からして11.8キロ、今4キロが200万円ほどの時代に、もうむちゃくちゃ業者にもうけさしようにする。そういうのは、何か単価計算したりそういうことはしてないのか。

○久保山環境課長 太陽光のほかにリチウムイオン電池、蓄電池とかLEDを設置しておりますので、そのトータルが2,100万円でございます。

○田口委員 ちょっと難しい質問じゃけど、例えば備前市が11.8キロワットその再生可能エネルギーをしたら、民間の電気代というのは1軒当たり単価は備前市民が何十銭アップするか、何円アップするか計算されたことはありませんか。

○久保山環境課長 済みません、そこまで計算をしておりません。

○田口委員 これから大規模なことをされるつもりなら、そういうことも計算してぜひやってほしいと思う。民間が太陽光を一生懸命ふやして、市民の人の個人負担が、電気代が上がるというのじゃなしに、公共が太陽光をして1世帯当たりの電気代が中国電力から値上げになったという、不合理な話だと私は思う。ぜひその辺もよく研究してから今後進めていただけたらと思いますが、課長、いかがです。

○久保山環境課長 わかりました。環境にも配慮した形で、公共施設についても自然エネルギー等を利用しながら、個人の人にはできるだけそういうプラス負担がかからないような形で計算もしていきたいと思います。

○掛谷主査 それでは、今の39ページ、衛生費県補助金1節、3節までよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

42、43ページ、3項県委託金、総務費県委託金の2節、3節、4節と、同じく県委託金の民生費県委託金。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

44から47ページまでを一括で行いたいと思います。これについては、17款財産収入、1項財産運用収入と2項財産売払収入、別紙がございます、別紙を見ていただいて詳細が載っておりますので、利子及び配当金と物品売払収入についての質疑を受けます。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

48、49ページ、寄附金について、3目民生費寄附金、5節児童福祉総務寄附金。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

48から51ページ、繰入金について一括で行いたいと思います。1項特別会計繰入金と2項基金繰入金、その中でも1目国民健康保険事業特別会計繰入金、11目介護保険事業特別会計繰入金、20目後期高齢者医療事業特別会計繰入金、今度は基金繰入金の3目ふれあい交流基金繰入金、5目ふるさとづくり基金繰入金、18目市営墓地管理基金繰入金、ここまでに質疑を受けます。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

52、53ページ、諸収入、1項延滞金加算金及び過料、3項貸付金元利収入の1目住宅新築資金等貸付金償還金と、3目生業資金貸付金元利収入と、4目高齢者住宅整備資金貸付金元利収入、5目災害援護資金貸付金元利収入、9目支援資金貸付金元利収入まで。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

54、55ページ、3項貸付金元利収入の支援資金貸付金元利収入。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

54から63ページ、雑入、長いですが、これは別紙の雑入というところがありますので、それを参考にしながらこの雑入について御質疑ありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

歳入については以上でございますので、次に参ります。

歳出へ入りたいと思います。

74ページからの総務費、総務管理費、6目企画費中の13節委託料の中の企画政策調査委託料の一部、ここで何かありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

78から81ページ、7目支所及び出張所費について、これも別紙の中の歳出のところに詳しくは載っています。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

82から87ページ、11目地域振興費、これも別紙に詳細が出ています。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

12目自治振興費、これも次のページに詳細が出ております。

○星野委員 自治振興費の負担金補助及び交付金の区会等運営費補助金、これは決算報告を受けているという話を伺ったが、どういうことに使用されているのでしょうか。

○馬場市民協働課長 各地区から、決算報告を受けております。一応、4月に全ての補助金を提出しているところから、補助金の実績報告という形で決算報告も受けているという形です。

○星野委員 具体的にどういうことに使用されているか、上位3つか5つお教えてください。

○馬場市民協働課長 特に使用しているということはありません。一応、確認の意味で、決算報告を受けているということでもあります。

○掛谷主査 どういうものに使われているかという内容について。

○馬場市民協働課長 各地域で行われているスポーツのイベント、それから環境衛生事業とかそういうものに使われていると思います。

○掛谷主査 よろしいか。

○立川委員 地域おこし協力隊員の報償費が上がっているが、出入りを教えてください。何人入られて、何人出られたか、最終の人数とあわせてお知らせいただけたら。

○馬場市民協働課長 地域おこし協力隊でございますが、平成28年度末現在で22名でございます。今現在ですが、教育協力隊を含め18名となっております。

○立川委員 昨年度、任命というか委託をされた数と、途中やめられた方もいると思うが、その出入りの数が22になったと思うが、その出入りの出のほうと入りのほうと数字を教えてください。ききたいんですが。

○馬場市民協働課長 28年度中の移動でございますが、入った方が13名となっております。途中で退任された方が4名でございます。

○立川委員 入ってこられた人は、意欲を持って入ってこられたでしょうが、退任された方はどんな状況でしょうか。家庭の事情があるとか、その辺の調査はされましたか、教えてください。

○馬場市民協働課長 家庭の事情で退任された方、それから一応お一人ですが教育協力隊ですが、お一人の方が職務で余りよくできていなかったということで、こちらのほうから伝えてやめていただいた方も1人いらっしゃいます。

○立川委員 御家庭の事情で3名、意欲の問題で1名ということですが、しっかりその辺検討されて、気持ちよくしてもらえるような配慮をしてあげてください。よろしくお願いします。

○橋本委員 87ページの19節負担金補助及び交付金のグループタクシー利用補助金、これ、28年度は1年分でいつ使ってもいいよという形でやられて、恐らくこの3月末に使用期限ぎりぎりです。どっと利用が集中したというふうに聞いているが、月別の利用状況がわかりますか。恐らくそれをこれはこういうことをしとったらだめだということで、29年度は1カ月単位での、その月に使わないともう繰り越しはできないというような形にされたと思うが、この月別の利用状況をまずお尋ねしたい。

○杉田公共交通課長 月別の利用状況ですが、毎月のものは資料が今手元にないですが、参考までに平成29年2月については6,000枚の利用がありました。3月については、駆け込みがあったということで1万5,000枚の利用がございました。

○橋本委員 ですから、それらを勘案してこれはだめだということで29年度の改正につながったと思うが、3月末に駆け込みがあった中で不正な利用というか、そういったものは把握されとりますか。それと、例えば交付した相手でない人が使ったというようなケースは出てこなかったのか。あるいは、ちまたでちらっと話を聞くが、タクシー運転手がもう安く買い取ったというような話もちらっと聞くが、そういったことを一切執行部は把握されていませんか。

○杉田公共交通課長 グループタクシーの助成金については、通し番号をつけて名前を書くようにはしておりますので、そういったことでの確認はさせていただいております。明らかに不正な利用というものについては、こちらでは把握しておりません。

○橋本委員 通し番号をつけて、これはAという人に交付したものと、ただ例えばタクシーチケットをタクシーを利用してAの使う分をもうAに裏書きを、裏書きか何かせにやあなんのですか、それをしてもらったものを渡すと、運転手は、ああ、この人はAじゃないなと思うて

も、それで運べば別段不正じゃないわけですか、不正がわからんですよね、それ。だから、私はこの制度自体にやはり大きな問題が出てくるということを前々から言っていますが、そこら辺は厳密に利用方法の規定をされておるのかどうかということを知っています。

○杉田公共交通課長 御指摘のようなケースについては、なかなか対応が難しいとは考えております。ただ、利用者の方の利便性等も考えますと、余り厳しくするのもどうかということで現状の方式では行っております。

○掛谷主査 いいですか。

○橋本委員 はい。

○掛谷主査 今は、自治振興費まで来ましたが、そこまではよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

88、89ページ、総務管理費の中の14目国際交流推進費全体でどうでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

90から95ページまで、徴税費で何かございますでしょうか。

○立川委員 93ページ、23節償還金利子及び割引料、不用額が270万円ほど出ているが、税の収入払戻金2,222万9,260円、昨年が2,200万円ちょっとだったが、これ実績が見込みを下回ったという説明があったが、その判定と原因は何か分析しておられますか。

○竹林税務課長 税収入の払戻金ですが、こちらで大きな要因が法人市民税になりますが、こちらの中間申告をいただいた法人にかかわる還付金、こちらが年度間でかなり変動が大きいものがございます。たまたま28年度中においてはその法人市民税の還付金の額が500万円程度で済んだということでこのような不用額が出ているという状況になっております。

○立川委員 法人市民税が中間申告よりもかなり下回ったという解釈でいいとは思いますが、何か感じませんか、何も感じられませんか、いかがですか。

○竹林税務課長 こちらの法人市民税の変動について、前年度にいただいたということで確定申告で還付金、実績は下回ったということでちょっと読めない部分があってこういう還付の状況となっております。

○立川委員 読めないんじゃないくて、読んでいただきたいという希望を込めて質問させていただきました。確定申告でわかるんですけど、じゃあ実際に今の動きはどうなのかというのを一歩、二歩先を見てしていただけたらと思います。能力はあると思いますので、よろしく願います。

○掛谷主査 答弁は。

○立川委員 いいです。

○掛谷主査 いいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

94から97ページの3項戸籍住民基本台帳費のところ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

96ページから101ページの4項選挙費。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

102から107ページまでの民生費の1項社会福祉費、1目社会福祉総務費。

○立川委員 105ページで13節委託料、223万8,000円ほどの不用額も出ているが、申請書の作成業務が減ったと、この理由として申請書の作成業務の委託、どのような申請書が減ったのかということでお尋ねしたいと思います。

○丸尾社会福祉課長 この不用額については、臨時福祉給付金がありますので、その申請書の送付という格好の書類でございます。最終的な数字が確定しましたので、その数字で減っております。

○立川委員 その下のところで臨時給付はお尋ねしたいと思いますが、13節でコールセンター業務委託金委託料、これ筆が2つになっているが、何か特別があると思うので、教えてください。

○丸尾社会福祉課長 平成28年度の臨時福祉給付金については、3万円の分と3,000円の分があります。その関係で、コールセンターのほうも3万円の福祉金に対するコールセンターと3,000円の給付金に対するコールセンターで分けております。

○立川委員 その件数はつかんでおられますか。

○丸尾社会福祉課長 3,000円に対する臨時給付金のコールセンターの件数については477件、3万円については465件の問い合わせがありました。

○掛谷主査 よろしいですか。

○立川委員 19節の同じく負担金補助交付金、社会福祉協議会の補助金がかかなりアップしていると思うが、理由を教えてください。

○今脇介護福祉課長 社会福祉協議会の補助金は3つの種類に分かれています、アップしているのではなく、27年度よりは少なくなっていると思います。

〔「ダウン。ほんまに」と呼ぶ者あり〕

27年度までは二手に分かれていたのではないかと、濟いませぬ、詳しくはわかりませんが。社会福祉協議会補助金と、地域福祉事業補助金というのが一つの項目で、もう一つは高齢者いこいの場補助金というのが2つに27年度は分かれていたと思いますが、28年度は1つで社会福祉協議会補助金ということで支出しております。内訳としては、社会福祉協議会補助金が1,750万円、地域福祉事業補助金が473万2,000円、これはずっと変わっておりませぬ。高齢者いこいの場補助金が66万6,652円ということで、前年度の高齢者憩いの場補助金の79万3,947円よりは少なくなっているという状況です。

○立川委員 それを、次にお尋ねしようと思っていたが、地域福祉の推進事業補助金552万5,000円、これも項目から消えてましたので、合併しているんだろうなどは思ったが、その

辺の説明をいただきたかったので、今の説明で結構です。変えられるときには、なんか説明書きかなんかに書いといてください。

○今脇介護福祉課長 はい、わかりました。

○掛谷主査 よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

106、107ページ、3目国民年金費、いいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

4目人権啓発費。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

5目隣保館運営費はどうでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

110から113ページ、2項老人福祉費について。

○星野委員 111ページの負担金補助及び交付金、敬老事業補助金について、監査意見書で高齢者ふれあい事業の趣旨に適合しない支出については交付決定を取り消すなど措置を講ずる可能性があることを含め、各町内会に高齢者ふれあい事業補助金の適正な執行を指導していく必要があると指摘されているが、来年度に向けての対策はどのように考えられているのでしょうか。

○今脇介護福祉課長 この件については、監査からの指摘を真摯に受けとめなければならぬと思っておりますが、この事業は市内の町内会や、地区によっては大きな単位での町内会であったり小さな集落で行っておりますが、それぞれの区長や町内会長たちが高齢者の方のために毎年知恵を絞って何をしようかと考えてくださっています。高齢者の方々も、毎年この事業に対しては楽しみにしていらっしゃるということもお聞きしております。酒やビールに関しては、高齢で寝たきりの方などお酒の飲めない方もおられますので、このあたりは平等ではないことは考えられます。それからまた、記念品に関しても、区長や町内会長たちが毎年考えられて決められており、そしてその記念品を欠席の方には家まで配ってくださるなどこの事業の全体に関しては大変な御苦勞をおかけしておりますので、なかなかぱったり切るといふ御指摘のとおりするというのは難しいことだと考えております。各区長たちには、記念品や商品券を配付するのみのような事業を避けてくださいということをお願いはしております。地元の区長の方々の良識ある対応を、今後は期待しております。

○星野委員 ということは、監査意見書にあるように、具体的に用途を示す必要があると指摘されているが、具体的な用途については市のほうで指導していく考えはないということでしょうか。

○今脇介護福祉課長 今申し上げたように、記念品とか商品券のみだけを配布するようなことは避けてくださいということは、区会連絡会でもお願いをしております。そのような方向です。

○掛谷主査 いいですか。

○星野委員 これはいいです。次、その下の寺山地区高齢者通院費補助金、たしか去年の決算だったと思うが、グループタクシー、県との統合とか組み入れも考えてほしいという意見があったと思うが、これについてはどういう検討がなされているのでしょうか。

○大道日生総合支所長 現状、寺山地区1名の方が、利用を10回されております。ですから、グループというような意味合いでは使えないのかなということで私は認識しておりますが、昨年度の指摘をちょっと伺っていなかったもので、検討はしていないと思います。

○星野委員 たしかグループタクシー券も別にグループで使えという意味じゃないと思うんですよ。

○大道日生総合支所長 申しわけございません。認識不足です。

○掛谷主査 よろしいか。

○立川委員 同じページで、まず13節委託料、老人保護措置委託料が9,863万1,000円、これも不用額があるが、26年度該当が48名、27年度51名とお聞きしているが、28年度は何名が該当だったのでしょうか。

○今脇介護福祉課長 28年度は47名です。

○立川委員 これも見込みが下回ったという説明もあったが、どういう見込みを立てておられるのでしょうか。この3年間を見ても、まあまあ50人前後と、今後どのような見通しで対応されるのかお尋ねいたします。

○今脇介護福祉課長 高齢者の方もふえておりますので、26年度が50人、27年度が51人、28年度はちょっと減って47人ですが、同じような状況で推移するのかなとは思っております。

○立川委員 向こうのほうも老人の保護措置ですので、よろしくお願ひしたいと思います。まず極端に上がることはないとは思いますが、よくお願いします。

続いて、19節負担金補助及び交付金、商品券交付金9,669万6,000円、これは実績報告書は出される予定ですか。実数把握とか効果、課題等の報告書は出される予定があるでしょうか、いかがでしょうか。

○今脇介護福祉課長 以前の委員会で提出したと思いますが。

○掛谷主査 ああそう。何か提出書類がありましたか。出したんですか、出してるのかな。

立川委員、何か出した言われています。

○立川委員 いや、じゃなくて、事業の総括ですよ、こういう事業をして、こういう効果がありました、問題点はこうでした、確かにさっき言いましたように実数的にはぽろっと出てきて、ちょっとやっぱり残ったというような報告書はいただきましたが、その事業を通じての報告ですね。部長から指示が出ていると思うが、PDCAで、せっかく立案されて、実行されて、結果も出ているわけですから、この事業に対する実績報告書という意味でお尋ねをしたんですが、いかがですか。出される予定があるかないかということです。

○掛谷主査 総括ですね。

○立川委員 もちろんそうです、概論です。

○高山保健福祉部長 この事業については、さきの委員会で報告、数値的なものを出しており、その効果についてもその際に意見を求められたことですが、やはりはっきりした具体的な効果というのを示しにくいというのは申しわけありませんが変わっておりません。やはりある一定の効果はあったということで、その際にもお答えしたわけですが、現状で今ある資料、いろんな意見もいただいておりますし、いろんなお店も使っているというような状況を見て、何があと答えられるかということを見ると、今さきの委員会で答えした以上のことはちょっと無理というふうには考えております。その点で、今後そういうことを生かしていくということであれば、やはりそういう資料は残っておりますので、それは活用していきたいというふうに思っております。

○立川委員 事業についての実施報告書、課題書を、それはつくるつもりはないよということで、ただ次回には生かしますよという答弁で、確認ですがよろしいですか。

○高山保健福祉部長 単年ではありますがやった事業でありますので、これは後にも残して、そういう数字を見ながらあと判断する材料として置いておきたいというふうに思います。

○立川委員 ぜひよろしくお願いします。

続いて、同じところですが、シルバー人材運営事業補助金、これもちょっと上がっているように思うが、根拠を教えてください。

○今脇介護福祉課長 950万円から1,000万円に上がっております。これは、シルバー人材センターからの要望書に基づくものになっております。

○立川委員 要望書で上げたというお答えだったが、ほかからは、例えば老人クラブからは410万円ほどですが、こっからは上げてくださいというのはあったんですか、要望は。

○今脇介護福祉課長 老人クラブの助成金、補助金に関しては単価が決まっておりますので、そのあたり単価と、クラブ数とか会員数とかで算出しておりますので、そこら辺はちょっと違うと思います。

○立川委員 いや、例えで言ったんですが、単価を上げてくれという要望書が出れば、単価を上げにやあしょうがないじゃないですか。じゃなくて、本当にシルバー人材センターの資金が不足しているという判断で上げたという答弁がいただきましたかったが、希望だけで上げたというお答えだったのでお尋ねをしてみました。

○今脇介護福祉課長 申しわけないです。それはちょっと私4月からなので、もう決まった後だったということなので、その辺はわかりません。

○立川委員 済みません、国会答弁みたいに、ないです、知りませんではなく、課長、4月からされたわけですから、ぜひその辺は、こういうことで上げたんですよという、例えばシルバーからも来ていると思うんですよ、人がふえたとかですね、そんなところを捉えていただけたら

と思います。この部門は人数はどうか、ふえている傾向ですか、加盟員といますか、仕事は減っているようにお聞きはしていますが、登録員というか、今どんな傾向ですか。

○高山保健福祉部長 ちょっと具体的な数字は私持っておりませんが、伸びてはならないというふうに思っております。やはりなかなか人がふえないというのも一つの悩みにもなっております。そういう意味では会員数をふやしていくというのはこれからの高齢者の生きがいという面でも非常に大切だなというふうに考えております。

○立川委員 この部門は大切な部門だと思いますので、お声をかけていただいて、輪を広げるという意味でも運用はしてほしいが、お金の面だけはしっかり見てあげてください。よろしく願います。答弁結構です。

○掛谷主査 ほかにはよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、ここで休憩に入ります。

午前10時40分 休憩

午前10時53分 再開

○掛谷主査 休憩前に引き続き厚生文教分科会を再開いたします。

次は、112から115ページの児童福祉費、3項児童福祉費の中の1目児童福祉総務費、それから児童措置費について。

○立川委員 115ページ、13節委託料、こども応援フェスタ事業の業務の委託料、39万円計上されているが、これも委託先と、どんな内容でされておるのか。それから、現場の先生なんかの意見はどの程度取り入れていただいているのか、そのあたりを御説明いただきたい。

○藤田子育て支援課長 委託先は実行委員会になります。その中で実行委員会の委員の御意見をできるだけ取り入れるようにはしております。

○立川委員 その実行委員会の構成メンバーと内容をよろしく願います。

○藤田子育て支援課長 今名簿がありませんが、医師会、民生委員、愛育委員、保育園、幼稚園の関係の方、老人クラブの方でしょうか。

内容は、フェスタ及び、福祉まつりについてということでございます。

○立川委員 ちょっとは親の御意見といますか、生徒の意見は取り入れていただいているみたいですが、親の反応で1点か2点かありましたら教えてください。

○藤田子育て支援課長 申しわけありません。ちょっと親の反応については、私把握しておりません。

○掛谷主査 いいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次が、児童福祉費の3目ひとり親家庭と福祉費のところはいいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

4目保育幼稚園費で、7節中の運転員賃金だけ。

○田口委員 117ページの賃金、母子父子自立支援員賃金。母子父子自立支援員、その言葉を知りたい、例えばときによってはひとり親家庭というたり、母子父子と書いていますが、正確にはどういうふうに対応するんですか。

○藤田子育て支援課長 父子というのは、後でついたんです。母子家庭、それから父子家庭の方のいろんな生活面とか、悩み事、就労関係の相談、そういったことを受け持っております。

○田口委員 すると、課長、要するに母子父子家庭というのが正しくて、ひとり親家庭という言葉はないと思ってよろしいですか。

○藤田子育て支援課長 あります。ありますが、言い方の問題だけだと思いますが、制度的にひとり親家庭という言い方をする場合もありますし、この母子父子、後からつけ加わった父子ということでわかりやすくしたんじゃないかとは思っています。

○田口委員 例えばこの母子父子自立支援員賃金と書いとんの、ひとり親家庭自立支援員賃金と書いたら、どっかでやっぱり私は統一するべきと思う、あっちこっちでいろいろな形でこう呼ぶんじゃないしに、と思いますが、課長はどう思われますか。

○藤田子育て支援課長 ちょっと研究してみたいと思います。

○掛谷主査 よろしいですか、もう。

○西上委員 扶助費、母子家庭自立支援給付金40万円で、どのような効果がありましたか。また、満足していますか。人数と、お願いします。

○藤田子育て支援課長 これについてはお金を給付していますが、今現在1人の方にしており、職業、資格を取るためにそういった支援をしております。今現在大学で保育士の資格を取られている方がおられ、今現在就学中でございます。

○掛谷主査 ほかによろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

118から121ページの民生費の中の3項児童福祉費、5目児童福祉施設費についてどうでしょうか。

○星野委員 121ページの委託料、病児保育事業委託料、利用件数をお教えてください。

○藤田子育て支援課長 28年度実績で9件でございます。期間は、昨年8月から3月末までということになります。

○掛谷主査 ほかに。

○立川委員 13節委託料、子育て支援拠点事業委託料3,109万4,000円、これが26年1,500万円、27年2,700万円、どんどんアップしているが、詳しい内容等について御説明をいただきたい。

○藤田子育て支援課長 子育て支援拠点事業の委託料について、2,255万4,000円、それから利用者支援事業委託料とし854万円の内訳になっております。

○立川委員 年々アップしているのですが、26年度に比べたらほぼ倍になっているので、その辺の詳しいお話を聞きたかった。どういう事業なのか、さっき言いましたようにどういう効果を期待してやっておられるのか、具体的な事業の内容を。2年で倍になっているんですよ。

○藤田子育て支援課長 27年が2,700万円幾らで、28年が3,100万円ということで400万円ぐらいアップしておりますが。

〔「26年が1,500万円ですよ」と立川委員発言する〕

はい。26年ですか、ちょっと資料を持ってないのですが、利用者支援事……

○掛谷主査 いや、事業内容でしょ。アップしているという事業内容についてお聞きしよる。

○藤田子育て支援課長 事業内容ですか。

○立川委員 ですから、26年と比べたらほぼ倍になっている。1,504万7,000円だったのが、おっしゃるように27年は2,763万4,000円、28年度が3,109万4,000円、2年ほどの間に倍になっていますので、その事業内容等を教えていただきたいということです。

○藤田子育て支援課長 26年度の決算額と28年度の決算額が倍増しているということで、理由としては、子育て支援拠点事業のほうでプレーパークが新たに加わったということで、これが約600万円弱、それから利用者支援事業が27年度から始まっており、これが約850万円ほどでございます。細々したものはございますが、約1,604万7,000円ふえた格好になっております。

○掛谷主査 後で報告を願います。

ほかには。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

122から125ページ、民生費の4項生活保護費全体で。

○立川委員 生活扶助費1億1,700万円、数字は言いませんが生活扶助費が200万円ほどアップ、住宅扶助費240万円ほどアップ、教育扶助費も微増、医療扶助費が2,700万円のマイナス、介護扶助が200万円ほどのマイナスと、それぞれ傾向と原因だけ教えていただけたらと思いますが、見込みでも結構です。

○丸尾社会福祉課長 この扶助費については、まず生活扶助費の件については月平均の人数ですが、平成27年度は234人だったのが、235人と1名増となっております。その関係でふえております。それから、住宅扶助費については、これも月平均ですが118世帯、これは変わりません。しかし、近年は、住宅改修費とか家賃が少し高いところへ住まわれる関係でアップしております。それから、教育扶助費については、月平均として14人だったのが17人にふえた関係でアップしております。それから、医療扶助費については、これも月平均ですが入院患者として29人が26人と減、外来として335人が327人に減ということになっており、この関係で増と減ということになっております。介護扶助費についても、月平均としては27年度が26

人、そして28年度が25人と、1名減となった関係で減額になっております。

○立川委員 人数の減、この減少はどういった減少でしょうか。例えば、転出、大変失礼なお話になるがお亡くなりになられたとか、その辺の原因はつかんでおられますか。

○丸尾社会福祉課長 細かい人数までは把握はしておりませんが、亡くなった方もおりますし、今言われたように転出という方もおられます。その関係も増減ができております。

○掛谷主査 よろしいですか。

○立川委員 はい。

○掛谷主査 ほかによろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

124、125ページの中の5項災害救助費について。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

124から129ページの1項保健衛生費の1目保健衛生総務費の中で、28節中の飲料水供給事業特別会計繰出金を除くもの全部です。

○星野委員 127ページの報償費、記念品等792万円、これにBポイントの記念品も含まれていると思うが、これによって効果、医療費の抑制につながったとか、健診の受診者がふえたとかという効果をお教えてください。

○山本保健課長 Bポイント制度の効果については、まず特定健診については27年度が36.6%だったのが39%で、2.4%、微量ですがふえておること。それから、いろんな部署でいろんなイベントをやっておりますが、特に病院等の健康講演会、備前病院だと月に1回程度の講演会をやっておりますが、そういった参加者が倍増したとか、あるいは他のイベント等についても参加者がふえたというような効果があったと思っております。それから、医療費等については、まだ実際の検証が済んでおりませんので、今後以前の委員会でも回答させていただいたように数年程度になった時点でそういった検証も必要かなというふうには考えております。

○掛谷主査 ほかに。

○立川委員 125ページ、1節報酬、愛育委員の報酬、栄養委員の報酬が消えているが、それが19節の負担金補助、愛育委員会補助金、栄養委員会補助金ということでプラスというか合併されていると思うが、委員の懐と言ったら語弊がありますが、その辺の変化があったのでしょうか。それと、こういうふうにされた理由をお願いしたいと思います。

○山本保健課長 28年度から委員報酬、以前は栄養委員、愛育委員4,000円出ておりましたが、こちらの4,000円を落とさせていただき、それをほぼ同額程度補助金のほうに移行させていただきました。これについても、それぞれの委員会の幹部の方とともに協議もして、合意のもとでやらせていただいたということですが、愛育委員、栄養委員といえますのは市民の健康増進のためにボランティアとしてほぼ御活躍いただいている方々でございます。そういったところの事業をもっといろいろ充実していただきたいというこちらの思いもございまして、

補助金に変えさせていただきたいということでいろいろ協議を進めた結果、御了解をいただき、そういった方向で変更させていただいたということでございます。

○立川委員 報酬で支払うのと補助金で支払うのと大きな違いというのは何ですか。

○山本保健課長 報酬で支払っていたときには、源泉徴収票を切っておりましたので、それが個人の所得ということになっていましたが、補助金なのであくまで個人にはお金がいかないということで、そういったところの違いは出てきております。

○立川委員 節税対策だっというの、よくわかりました。ただ、愛育委員会の補助金ですね、補助金の使用の内訳といいますか、それは規制をされておるんですか。今までのように、1人3,000円ぐらいどうぞという使い方をされているんでしょうか。

○山本保健課長 これはあくまで委員会としての活動に対する補助金でございますので、個人の方にお金が直接、交通費であったり実費相当については出しているケースがあろうと思いますが、基本的には地区ごとで地区委員会を設けております。例えば西鶴山、東鶴山、伊部といったようなところでそれぞれの地区の委員会活動をやっておりますので、そういった地区のほうにお金を必要に応じて分配していただき、各地区、各地区でふさわしい事業を考えていただいて、そういった活動に使っていただいております。

○立川委員 しっかりその辺の趣旨を各委員会で徹底していただくように、ぜひよろしく願いたしたいと思います。

○掛谷主査 ほかによろしいですか。

○星野委員 127ページ、扶助費、小児医療費ですが、償還給付の件数をお教えてください。

○山本保健課長 外来と入院合わせ2,860件でございます。

○掛谷主査 よろしいですか。

○星野委員 同じところですが、以前の委員会で近隣市町村の医療機関にかかった場合の現物給付化を検討してほしいという意見があったと思うが、その後は。

○山本保健課長 日生地区の場合は、特に赤穂市の病院を利用されている方が結構あります。そういったこともあり、以前から御意見をいただいておりますので、赤穂の病院の中で約半分ぐらいの比重を占めている病院に交渉をさせていただきました。しかしながら、やはり件数が多いというようなことで、手作業ではなかなかいかない、システムの変更もしないといけないとかといったような理由で、ことしの1月ごろからずっと交渉をいろいろ進めてきたわけですが、なかなかいい返事がもらえないということで、今のところそういった実施には至ってはおりません。引き続き交渉はしていきたいというふうに思っております。

○掛谷主査 いいですか。

○田口委員 課長、関連して、例えば赤穂市民病院で出産するときには、定住自立圏のことから負担金をいただいとんですが、例えばそのシステムの変更等々が必要なら、例えば定住自立圏のほうに予算要求をお願いするとかそういうことをされました。

○山本保健課長 システム変更については、どの程度かかるのだろうかといったような計算も業者じゃないとわからないという返事をいただいたわけですが、そういったものも教えていただけないだろうか、例えばそれを市が負担するというふうなことを条件でもらえないだろうかといったような話も、今後そういったことを含めて協議をさせていただこうというふうに思っております。

○田口委員 今までに何回話をされましたか。

○山本保健課長 私が直接話してはしていませんが、担当のほうは10回程度は電話等でいろいろお話はさせていただいているというふうに聞いております。

○田口委員 いや、課長が行っていないという形では、私は間違いだと思います。そういうこともせずに、交渉したけどだめだったというそんな話じゃ、もう答弁せんとって恥ずかしいから。それと、委員長、さっきから資料を持っていない、何のために決算の委員会をしているのか。さっきの話じゃないけど、課長がだめなら部長が行くとか、もっと精力的にそれをすべきと思うが、いかがですか。

○山本保健課長 先ほども言いましたように、私も行くよという話はさせていただくわけですが、相手先がどうも乗り気でないといったような状況もあり、諦めたということではございません、今後も引き続きアプローチしていくということで御理解いただけたらと思います。

○掛谷主査 いいですか。

○立川委員 その上の13節委託料、妊婦乳児健康診断委託料が100万円ほどアップしているが、原因といいますか人数分がアップしたのか、その辺の説明をいただきたいと思います。

○山本保健課長 この委託については、妊娠して出産するまでにいろんな検査を行います。無料券等も出させていただいております。そういった件数が若干ふえたということで、対前年比でいくと少し伸びたということで御理解いただけたらと思います。

○立川委員 100万円ほどなので、人数的に伸びたというよりも何か楽しみやなという気はするが、どのぐらいかというのはつかんでおられないですね。

○山本保健課長 人数というよりも、1人がもう何回も検査を受けますので、回数がふえたということで御理解を、利用回数がふえたということで御理解いただけたらと思います。

○立川委員 それを聞いたかったんですが、それとこの委託先はどこが主にされているのか。

○山本保健課長 これは、県内の医療機関で受けたものが対象で、国保連合会へ委託しております。

○立川委員 それ以上は聞きませんが、内容もしっかり見てください。多分、東向きか西向きかというぐらいはつかんでほしいと思います。

続いて、救急医療在宅当番医の委託料237万4,000円、これずっと変化がない、今言われているのに何か拡大策は考えておられるのか、どう考えておられるのかなあというのが気になるので、教えてください。

○山本保健課長 救急医療費の当番については、土曜、日曜、祝日、年末年始等において、和気医師会に当番医としてお願いをしているものでございます。しばらく値段等はアップしておりませんが、現状据え置いた値段で和気医師会にお願いして引き受けていただいておりますというものでございます。

○立川委員 これだけ在宅を言われているわけですから拡大策は何か考えて、今度は質のアップを考えていかないかん時代に来ていると思うが、旧態依然として和気医師会に頼んでいますよ、これだけです、あとよろしくと、それでいいのでしょうかということです。それでまあまあ行けると、執行部は考えておられるということでしょうか。

○山本保健課長 当面はこの現状の制度で行きたいと考えております。ただ、また別で、救急的には岡山市の医療機関等とも、下のところへありますように第2次救急医療ということで岡山市内の大きな病院等とも契約しておりますので、そういったところも利用していただいておりますというものでございます。

○立川委員 ちょっと残念な気がするので、一言だけ言わせてください。救急としての第2次救急もそうですが、今課長おっしゃったように日生、三石のほうは結構東向き、赤穂が多い。今おっしゃいました、和気医師会に頼んどけばいいよ、岡山に頼んどけばいいよ、それで果たしてクリアできるのかと、結構東向きが多い気がしますので、その辺の御努力はいかがかなということでお尋ねしました。救急の在宅ですよ、困ったときですよ、はい、じゃあ和気行ってください、岡山行ってください、もうそれでそれ以上のことは考えておりません。いいですか、日生や三石の人はどうしますかということをしつかり本当に、課長もう内容をつかんでおられるわけですから、動向も、ぜひこの辺の進捗、進めていただきたいと思うが、いかがでしょうか。

○山本保健課長 定住自立圏ということで、赤穂市等ともいろいろ協働でやっておりますので、そういったことが可能かどうかということも、またちょっと検討させていただきたいと思えます。

○掛谷主査 ほかによろしいか。

○星野委員 127ページの扶助費の出産祝い金、決算額が1,600万円、平成28年度で出生数が160人とどまっているということでよろしいでしょうか。

○山本保健課長 平成28年度が160人という意味ではなく、生まれてから申請するまでの時期は一定の期間がありますので、28年度に申請された方が160人おられたということで御理解いただけたらと思います。出生数はもう少し多いです、申請が160人あったと。ですから、28年度に生まれた方も29年度で申請をされている方も当然いらっしゃると思います。

○掛谷主査 ほかによろしいか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

128、129ページの保健衛生費の中の2目予防費。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

続いて、環境衛生費の中で、28節中の浄化槽関係は除いたものでございます。

○立川委員 斎場の管理業務委託が540万、昨年は105件あったとお聞きしているが、28年度は何件あったのでしょうか。

○久保山環境課長 日生斎場が101件、備前斎場が422件、計523件の使用が出ております。

○立川委員 19節に負担金がありますので、そこに新しい制度だと思いが火葬の補助金がありましたよね、24万7,000円、利用は何件あったのでしょうか。

○久保山環境課長 28年10月1日から施行されており、9件でございます。

○立川委員 環境衛生改善事業178万1,000円、これは特にどの辺のごみステーションだったのか、教えていただけたらと思います。

○久保山環境課長 こちらの改善事業については、ごみ置き場、備前地区で7件、日生地区で1件、それから資源回収の関係が備前地区で4件申請が出て補助を出しております。

○立川委員 その下の償還金、23節市営墓地の永代使用料等還付金が上がっているが、理由を教えていただけたらと思います。

○久保山環境課長 こちらは、最初に借りたときに1回こっきりというお話をしましたが、お墓を返すときに使用年数に応じて金額が決まっておりますが、それによって還付金が発生しております。

○立川委員 例年100万円ちょっとですが、これ多かったから何か特別な事情があったのかと思ったが、件数もつかんでおられると思いますが、どのぐらいの方に還付されたのか。

○久保山環境課長 10件分還付しております。

○掛谷主査 いいですか。

○立川委員 はい。

○掛谷主査 ほかにはよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

130から135ページの衛生費の保健衛生費、4目公害対策費。

○立川委員 131ページ、環境保全対策審議会委員報酬4万5,500円、これ人数を減らされたのか、ちょっと減っているみたいですが、その状況を教えてください。

○久保山環境課長 こちらは平成28年度でこの審議会を開いたときに出席された人数に対してお支払いしておりますので、28年度は7名分の報酬ということになっております。

○立川委員 定数は何名ですか。

○久保山環境課長 民間団体と行政の機関関係職員で16名になっております。

○立川委員 16分の7で委員会をされるということなので、どうお考えですか。

○久保山環境課長 行政の関係の職員は報酬を支払っていないので、その関係でございます。

○掛谷主査 行政職員は。

○久保山環境課長 5人です。

○掛谷主査 よろしいですか。

○立川委員 はい。

○掛谷主査 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

134から139ページの衛生費、2項清掃費で何かございますか。

○立川委員 135ページ、3節職員の手当。時間外を見させていただきましたが、1,108万円、昨年対比で153万3,000円、人数対比では2人増で、これ一覧表もいただいとんですが、これ理由と対策はわかりますか。結構多いですね、いただいた資料を見ると1人当たりが20時間、衛生費ですね、これ16人で、前14人のときは17.8時間、恒常的な残業ということになっているが、理由と対策を教えてください。

○久保山環境課長 環境センターの職員については新しく職員を配置していない状況で、年々減少してきております。というところもあり、1人当たりの残業もふえているのではないかと思われますが、今後は職員だけでは対応できない部分もいずれ将来的には出てくると思いますので、業者委託等も検討しながら考えていきたいと思っております。

○立川委員 これ総務からいただいた資料ですが、特別出ているんですね、清掃費の残業が、ということは職員が足りないという判断をするが、現場はそれで回っているのか、管理はいかがですかということをお尋ねしたい。

○久保山環境課長 一応、シルバー人材センターにも収集の委託を出しております。そういった関係で、補助的な人員はつけております。

○立川委員 じゃあ、職員を余りいじめないで、そういうところの委託で回しますよということで理解しといていいですか。

○久保山環境課長 ただ、今年度は焼却炉の改修工事もございまして、岡山市へ持って行っているという状況もございまして、ちょっとかつかつの状態ではあります。環境課の職員もできるだけフォローには当たっては行っております。

○立川委員 今、心配したのはそれだったんですよ。岡山まで持っていかれる、きちきちの職員でやっておられる、実際職員が欲しいなら欲しいと、それが言えない土壌かなあという気がしてしょうがないですが、部長、いかがですか、そういう土壌ですか。

○今脇市民生活部長 今は炉の関係で不足がちということで、先ほど増員をしていない、要するに採用していないということで、将来的に委託の方向でというようところがあって採用していないわけですが、他市の状況を見ながらそういう方向性、そういう中でやっているの、その中でタイミング悪く炉のほうのがありましたので委託でやっていきたいということで、現場の負担が少ないようにそのあたりもっと補充、補充といいますか手当てをしていかなければいけないというふうに思っております。

○立川委員 よろしくお願ひします。現場に余り負担をかけても困ると思ひますので、よろしくお願ひします。終わります。

○掛谷主査 ほかにはどうですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

166、167ページ、土木費の6項住宅費、2目住宅新築資金等貸付事業について。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

172から175ページまで、10款教育費の中の1項教育総務費の中の2目事務局費の中の4、7、11、12、18節の一部についてと27節について見てください。

○星野委員 スクールバスの運転手の年齢制限や健康管理などは、ちゃんとマニュアルを設けてやられているのでしょうか。

○杉田公共交通課長 まず、スクールバスの運転手の年齢制限ですが、現時点では特に設けておりません。あと、健康管理のマニュアルについて、特にそういったものは設けておりません。

○星野委員 健康管理のマニュアルなんかは設けなくても大丈夫でしょうか。

○杉田公共交通課長 毎朝の健康管理チェックというか、いわゆるアルコールチェックとかそれから血圧チェックとかそういったものは行っております。

○掛谷主査 マニュアルはないのかな、そういうチェックはしているんだろうけど、ちゃんとしたもの。

○杉田公共交通課長 そういった取り決めはしてはおりますが、それがマニュアルと呼べるかどうかというのは、ちょっと私も判断に迷っております。

○星野委員 今後、年齢制限なんかを設ける考えはあるのでしょうか。

○杉田公共交通課長 スクールバスの運転手については、教育委員会採用になっておりますので、教育委員会とも相談をしてみたいと考えております。

○掛谷主査 いいですか。

○星野委員 はい。

○田口委員 さっきの星野委員の質問に関連して、課長、マニュアルがないという話をしているが、もう高齢者の方が多いわけだから、例えば最低限半年に1回健康診断をちゃんとせにゃああかんとか、何かそういうのは当然つくつとかと、つくって実施していないと、もし事故が起きたらいいわけできない。そういう一番肝心なことをしてないとそりゃだめじゃろうと思うけど、せにゃああかまあ。答弁願ひします。

○杉田公共交通課長 御指摘のとおりだと思いますので、今後つくつてまいりたいと思います。

○掛谷主査 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

184から189ページの10款教育費、6項社会教育費、1目社会教育総務費、これについては別紙を見ていただいたらございます。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

198から201ページに行きます。7項保健体育費、1目保健体育総務費。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

200、201ページ、2目体育施設費、体育施設費全体、ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次、3目学校給食費、その中でも4、7、11、12、27節が該当でございます。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

最後になりますが、204、205ページ、13款諸支出金、2項基金費、1目積立金、ごみ処理施設整備基金積立金、市営墓地管理基金積立金、ふれあい交流基金積立金、社会体育施設整備基金積立金で何かございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

最後に全体で質疑がございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

以上で議案第82号平成28年度備前市一般会計歳入歳出決算の認定についてのうち、本分科会所管部分の市民生活部、保健福祉部ほか関係の全ての審査を終了します。

今回は、27日の金曜日、午前9時半から教育部関係の審査を行いますので、よろしく願いいたします。

これをもちまして予算決算審査委員会厚生文教分科会を閉会します。

皆さん、大変お疲れさまでした。

午前11時50分 閉会